

この度は弊社製品をご採用頂き、誠にありがとうございます。

取付に際しまして、当書の記載内容をよくお読み頂き、安全で確実な施工をお願い致します。

取付方法

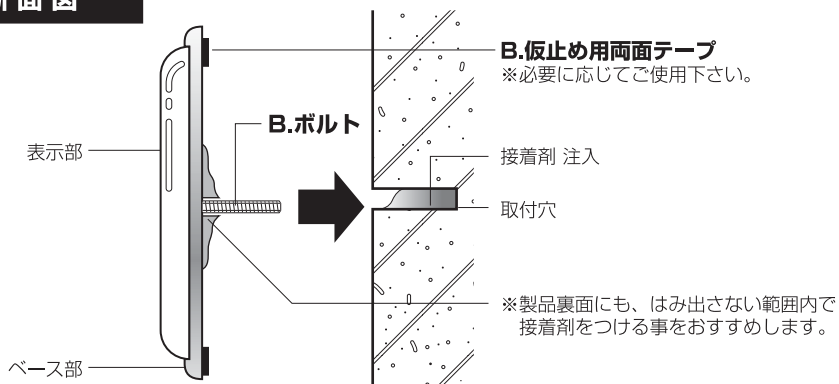
■ボルト出しによる取付けの場合

- ①製品と一緒に『A.取付原稿』・『B.ボルト』・『C.仮止め用両面テープ』が付属しているかご確認ください。
- ②取付位置の壁面に、付属の『A.取付原稿』を水平に貼り付け、ドリルで直径約5mm・深さ約35mm程度の取付穴をあけます。
※付属ボルトは直径4mm、長さ30mmです。
※壁面に対して垂直に取付穴をあけて下さい。
※壁面がタイルの場合、目地にボルト穴がくるように取付けすると作業が楽に行えます。
- ③製品裏面のネジ穴に『B.ボルト』を差し込みます。



- ④取付穴にたまったホコリ等を取り除き、穴にボルトが収まるか確認してから、接着剤を注入し、製品が水平になる様、よく確認して取付けして下さい。
※接着剤はコンクリートボンドなど壁面によってお選び下さい。
※必要に応じて『C.仮止め用両面テープ』をご使用下さい。(仮止め用両面テープのみでの取付けは、落下の危険性がありますので避けて下さい。)

断面図



■両面テープによる取付けの場合 ※取付面がフラット(平面)である事をご確認下さい。

- ①取付面の汚れをよく拭き取り、表面が乾燥してから取付け作業を行って下さい。
- ②両面テープをはがす前に、取付位置と水平をよく確認します。
- ③両面テープの台紙をはがし、製品を貼り付けます。
※貼り付け後は、傷が付かないよう製品を押さえつけ、両面テープを取付面に圧着して下さい。
※強粘着の為、2度貼りはできません。必ず水平や取付位置をよく確認してから貼り付けして下さい。
※曲面への取付は避けて下さい。破損や落下の恐れがあります。

■接着剤による取付けの場合

- ①取付面がフラット(平面)であることをご確認ください。
※曲面への取付は避けて下さい。破損や落下の恐れがあります。
- ②接着剤を塗る前に、取付位置や水平などをよく確認して下さい。
- ③製品の裏面に接着剤を塗ります。(速乾性の接着剤工ボキシ系等をおすすめ致します。)
※接着剤は取付面の環境によってお選び下さい。(ホームセンターなどでご購入下さい)
- ④水平をよく確認しながら、②で決定した取付位置に製品を貼付けます。
※接着剤が完全に硬化するまでは、製品が傾かないようにご注意ください。

周辺環境による影響

近年、台風が酸性雨の原因となる硫酸イオンなどの大気汚染物質を大量に集めながら移動することが、環境省の酸性雨調査で明らかになった他、中国大陸から飛来する黄砂や道路の鉄粉や粉塵など、屋外で使用される金属製品の周辺環境によるダメージが報告され、製品の変色・錆び・腐蝕などの問題が起きています。

アーバン表札のベース部分は、ABS樹脂にクロームメッキを施しております。ベース表面は金属化していますので、周辺環境によって、上記内容等のダメージを受ける可能性がある事をご理解下さい。しかし、簡単なメンテナンスで、周辺環境からの影響を軽減し、美観を長く保つ事ができます。必ず定期的に日々のお手入れを行い、酸性雨や汚れを放置しないようお願い致します。

日々のお手入れ方法

- ①水洗い・・・
製品に付着したホコリや金属粉などを洗い流した後、柔らかい布に水を含ませ傷を付けないように汚れを取り除きます。汚れが多い場合は中性洗剤を使用し、十分にすすぎを行って下さい。スポンジによっては製品に傷をつける場合がありますので、充分注意して作業を行って下さい。
 - ②乾拭き・・・
洗浄後は、柔らかい乾いた布で傷を付けないように水分を充分拭き取ります。
※フレーム部分は、乗用車用に市販されている拭き取りのいらないタイプのワックスを少量使用される事により、お手入れの効果が持続できます。トップコートが剥離原因になりますので、研磨剤(コンパウンド)が入っているワックスやシンナー・ベンジン・アルコール等の有機溶剤や、カビ除去剤・漂白剤などの薬品の使用は絶対に使用しないで下さい。
- ※指で表札の表面を軽く触ってホコリや汚れが付くようであれば、お手入れのタイミングです。2週間に一度のお手入れをおすすめ致しますが、台風や雨上がりの後は期間に関係なくお手入れされる事により、酸性雨や塩害のダメージを防ぐ事ができますのでより効果的です。